上林記念病院　精神科　教育プログラム

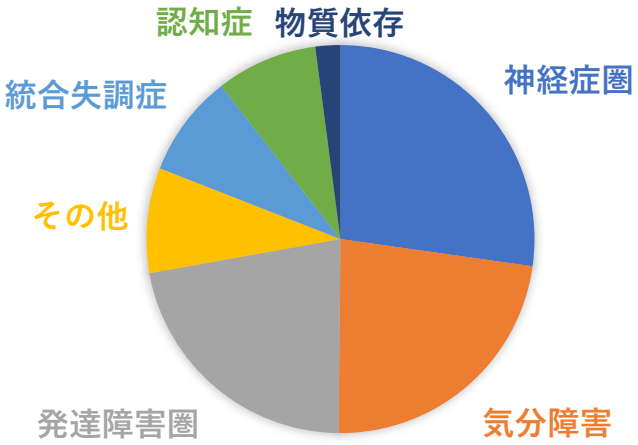
プログラムの特徴

- ☑ 民間精神科病院として**県内初の基幹施設**
- ☑ 精神保健指定医及び各種専門医取得に必要な症例だけでなく、**多種多様な症例を経験**できる
  ※精神科急性期治療病棟 46床／精神科一般病棟　142床（慢性期・認知症などに対応）／令和5年8月頃　107増床予定
- ☑ 成人だけでなく**児童精神**も単一施設で学ぶことができる。
- ☑ **経験豊富な指導医**がおり、精神保健指定医**合格率100%**（2022年度：3名申請）
- ☑ 各種センター・**専門外来（児童思春期、アルコール）**の設置
  今後設置予定：睡眠センター、うつ病疾患センター、ひきこもりセンター、統合失調症専門外来

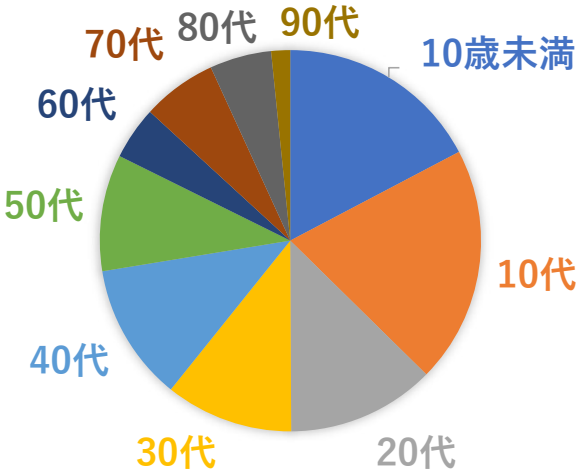
上林記念病院　精神科

症例数（外来）

症例内訳



年代別



外来数

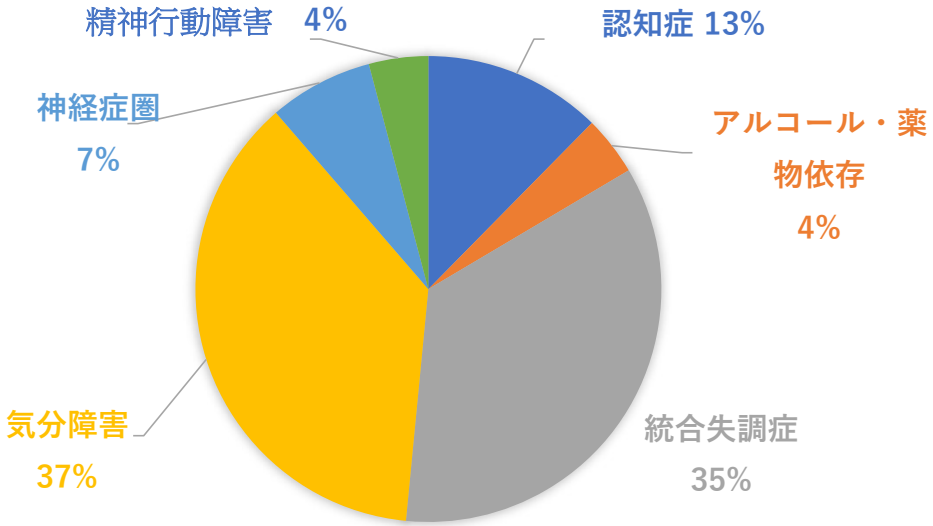
※令和３年１月１日～令和３年１２月３１日

	初診		再診
精神科診療 ／	1,193件	：	31,412件
中学2年生以下 ／	496件	：	9,358件

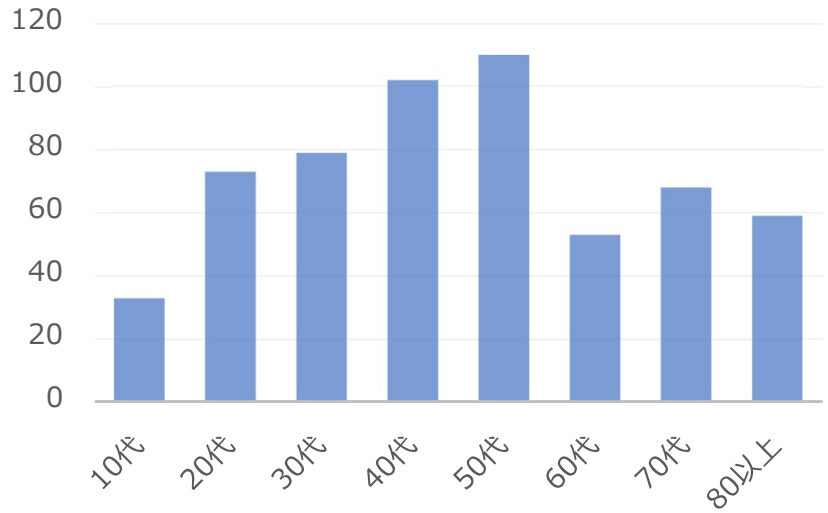
上林記念病院　精神科

症例数（入院）

精神科疾患別入院割合
（計586名：男性42%／女性58%　令和3年実績）



年齢別　入院数



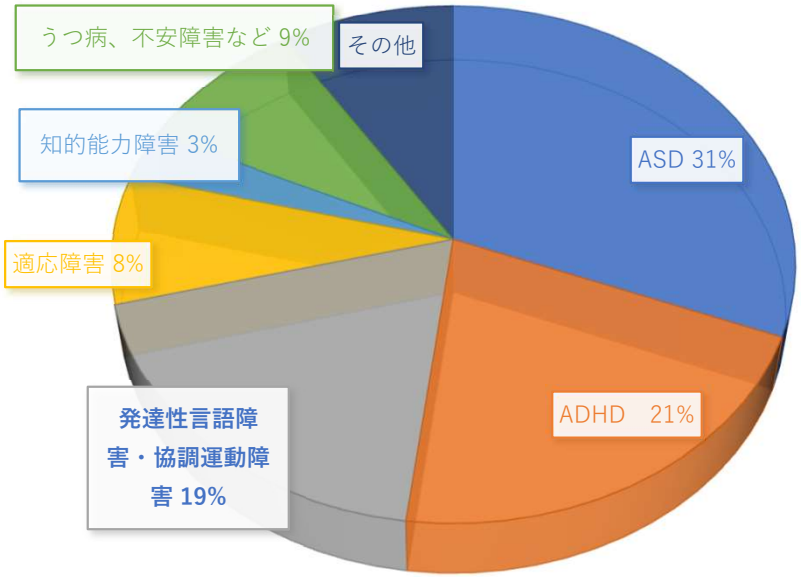
応急・措置入院　入院件数
令和2年　23件
令和3年　26件

様々な症候や疾患の入院症例があり、年齢層も多岐にわたる。また、措置入院経験も可能

こども発達センターあおむし

症例数（児童精神）

初診　疾患別割合
2018.8～2019.7



対象

15歳以下の子供（中学3年生まで）

主な対象疾患

自閉症スペクトラム障害（ASD）　注意欠如・多動性障害（ADHD）

気分障害　神経症、不安障害、強迫性障害

情緒障害、愛着障害　選択性緘黙、素行障害、不登校

2014.4～2019.7：初診　3131名

当院で可能な治療

・薬物療法（主にADHDに対して）
・心理療法（CBT、SST、プレイセラピー、EMDR、ペアトレなど）
・言語聴覚療法（発達性言語障害、構音障害、吃音など）
・作業療法（協調運動障害、ASDなど）
・JOY　児童思春期デイケア（ASD、不登校、居場所の確保）

人員体制

医師人数

医師　14名　：　後期研修医数 3名

指導医・専門医・認定医

日本精神神経学会指導医　6名　：　日本精神神経学会専門医　8名：

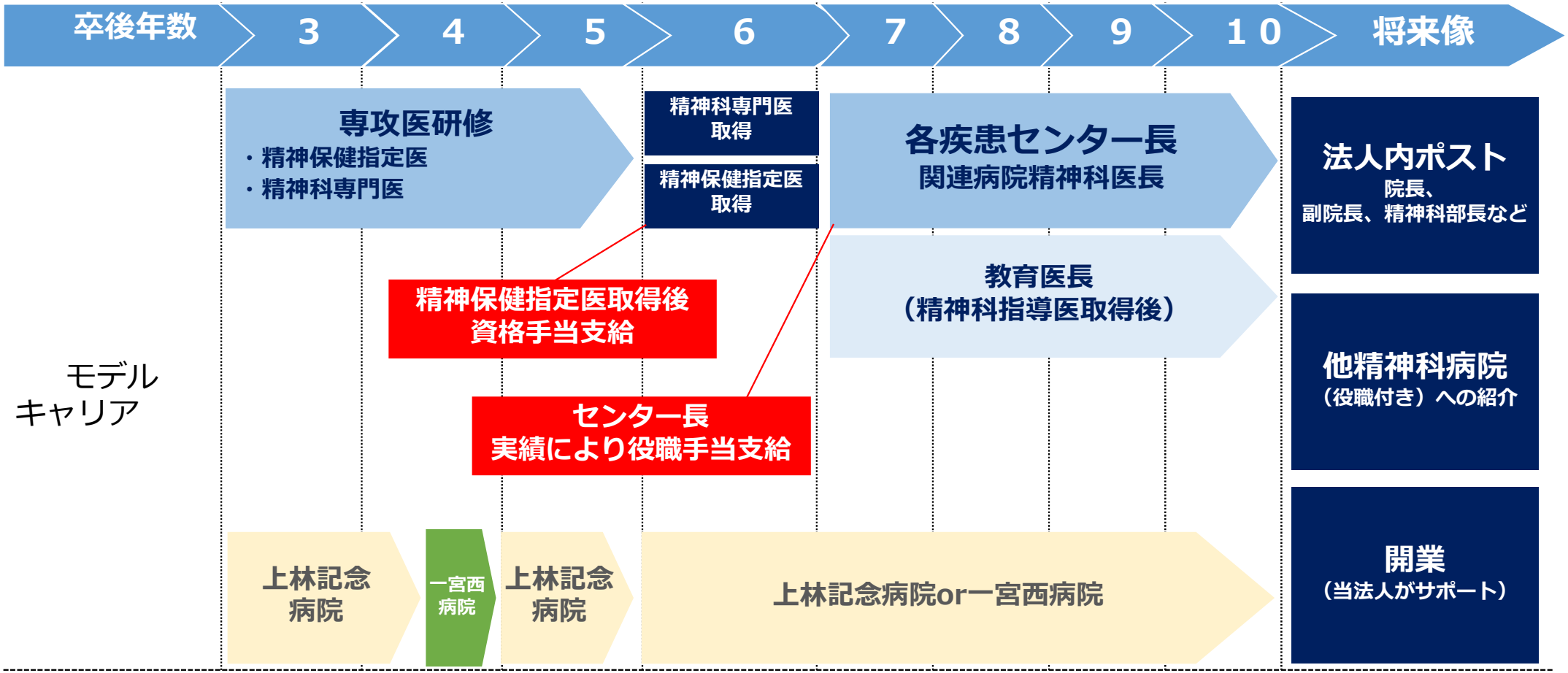
精神保健指定医　9名　：　精神保健判定医　2名　：　日本睡眠学会 認定医　1 名：

日本老年精神医学会専門医　1名　：　日本総合病院精神医学会専門医　1名　：

過去取得実績　：　精神保健指定医　：5名（2017年～2022年実績）

上林記念病院　精神科

モデルキャリアパス（例）



上林記念病院　精神科

精神科研修スケジュール

民間精神科病院では県内初の基幹施設です。地域社会に根ざした臨床実践的な内容
多種多様な多くの症例を経験でき、医局制度に縛られない自由な雰囲気があります

卒後3年次　基幹施設

基幹施設：上林記念病院

（１２ヵ月）
一般精神疾患
- 統合失調症
- うつ病
- 神経症
- アルコール

診断・検査・治療計画・治療法
（薬物・身体・精神療法）を経験

一般的な症例だけでなく、特徴的な症例
についても指導医のもと、多数経験

卒後4年次　基幹施設＋連携施設

基幹施設：上林記念病院

（６ヵ月）
摂食障害、器質性、措置症例、診断、
検査・治療計画・治療法を経験

連携施設：一宮西病院

（６ヵ月）
コンサルテーション・リエゾン

卒後5年次　基幹施設＋連携施設

基幹施設：上林記念病院

（６ヵ月）
一般精神科
指導医から独立し、外来、入院での
診療を行う

上林記念病院　精神科

到達目標

卒後年数

3年目	①人権に配慮し、患者を尊重する姿勢を学ぶ。 ②行動制限の手続きなど、精神保健福祉法に関連する法律の知識を身につける。 ③外来業務«指導医の診察に陪席» ・面接の技法、患者との関係の構築の仕方、基本的な心理検査の評価、診療録の記載の方法、向精神薬処方などを学習し身につける。 ④指導医の元で入院患者を受け持ち、診断・治療計画を立てることができる。
4年目	①パーソナリティ障害や種々の依存症患者の診断・治療を経験する。 ②企業のメンタルヘルス。 ③地域社会に密着した精神科医療について学ぶ。 ④学会や研究会での発表を行い、ピアレビューの中で技量を高める経験をする。 ⑤連携病院にてコンサルテーション・リエゾン精神医学を経験する。 ⑥措置入院患者、医療観察法患者の診察に立ち会うことで、精神医療に必要な法律の知識について学習する。
5年目	①心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。 ②児童・思春期、アルコール症例の診断・治療をより多く経験する。 ③統合失調症のクロザピン治療を学ぶ。 ③精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。 ④特定医師として精神保健指定医に準じる業務を行う。 ⑤地域の研究会や地方会などの症例発表、論文作成も目指す。
専門医後	①臨床経験をさらに増やし、専門外来をできるようになる。 ②精神保健指定医の業務を行う。 ③初期研修医・後期研修医の指導・教育 ④講演会、研修会 ⑤精神保健判定医を取得し、医療観察法に関わる。 ⑥各種委員会に参加し、病院運営に携わる。

後期研修医症例経験件数

経験すべき疾患						
統合失調症	気分（感情）障害	精神作用物質による障害	器質性精神障害	児童・思春期精神障害	神経症性障害	成人の人格・行動障害
10症例	5症例以上	2症例以上	4症例以上	2症例以上	5症例以上	2症例以上

経験すべき治療の場面				
救急	行動制限	地域医療	合併症	コンサルテーション・リエゾン

経験すべき治療形態				
入院治療		非自発的入院		外来
経験症例25例以上	症例報告3例以上	経験症例25例以上	症例報告3例以上	経験症例数20例以上、症例報告2例以上

週間スケジュール

時間帯		月	火	水	木	金
午前	9：00～ 12：00	精神科救急病棟 回復期病棟回診 児童思春期 外来（予診） 指導医陪席	精神科救急病棟 回復期病棟回診 外来（予診） 指導医陪席	精神科救急病棟 回復期病棟回診 外来（予診） 指導医陪席 デイケア	児童精神カンファレンス 外来（予診） 指導医陪席	精神科救急棟 回復期病棟回診 外来（予診） 指導医陪席
午後	12：00～ 17：00	カンファレンス 一般病棟対診 ミニレクチャー 救急・リワーク 病棟業務	精神科救急病棟 行動制限 一般病棟対診 救急・心理検査陪席 病棟業務	一般病棟対診・救急 訪問看護帯同 病棟業務	精神科救急病棟 行動制限 一般病棟診 救急 リワーク外来 病棟業務	一般病棟診 救急 精神科リエゾン 病棟業務
夕刻	17：00～	精神科 WG （第４週）	16:00- 症例検討会※	各種委員会 （第３週）	17：00- 医局会※	カンファレンス

精神科の主要資格一覧

資格名	施設基準	条件
精神神経学会専門医	○	最短で研修3年
精神保健指定医	○	最短で研修3年
児童青年精神医学会認定医	○	精神科臨床経験5年以上（児童は3年以上）
認知症専門医（老年精神神経学会）	△	施設申請を検討している。
臨床精神薬理学会専門医	○	
睡眠学会専門医	△	施設申請必要、整備必要
日本総合病院精神医学会専門医	△	8年総合病院で在籍、施設申請必要、整備必要
精神保健判定医	○	精神保健指定医取得後5年